

「京都市文化力による未来づくり基本計画」進捗状況について(令和元年度上半期)

7つの柱と取り組む方策	実施状況（令和元年度上半期）	関連予算（令和元年度）	
		事業名	金額（千円）
1 文化活動を担う人づくり			
切れ目のない、世代を超えた文化体験の充実	<p>「文化を未来に伝える次世代育み事業」 有識者による協議会「文化の知恵袋」を通じ、優れた専門講師を学校・地域に派遣し、地域に根ざした質の高い文化芸術を体験・体感する機会を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高・特別支援学校等が芸術家の派遣を受けて芸術・文化を体験するプログラム 18件 ・地域の文化会館等が次世代・親子等を対象に地域色を活かしたワークショップ等を実施するプログラム 15件 ・障害のある児童・生徒、児童福祉施設等の入所児童が舞台鑑賞により芸術に触れるプログラム 1件 	文化を担う人づくり事業費（文化を未来に伝える次世代育み事業）	24,200
	<p>高校での茶道・華道・古典など文化財に関する学習を通して、伝統文化を尊重する態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道 全府立高校で実施（予定含む） ・華道 府立高校20校程度で実施（予定含む） ・古典 府立高校20校程度で実施（予定含む） ・伝統文化推進校の設置 	高校生伝統文化事業費	19,550
	次世代や初心者が優れた古典芸能を鑑賞・体験できる公演や、将来を担う若手演者の育成のための公演に助成（33事業を予定）。	文化を担う人づくり事業費（古典芸能普及促進事業）	8,000
文化に携わる人材の育成	<p>若手作家の選抜展「Kyoto Art for Tomorrow 2020 -新鋭選抜展-」（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和2年1月25日（土）～2月9日（日） ・会場 京都文化博物館 ・出展 40点（特別出展：宮永愛子氏） <p>作家自身が作品を販売する場「ARTISTS' FAIR KYOTO 2020」（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和2年2月29日（土）～3月1日（日） ・会場 京都文化博物館ほか ・出展 若手アーティスト等62組 <p>若手作家等と企業経営者等との交流会「アトラウンジ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 6月28日（金）、9月8日（日）、12月6日（金）ほか2回程度開催予定 	国際アート市場形成事業費（京都新文化マーケット創出）	56,400
	<p>短期レジデンス事業「アーティスト・イン・レジデンス事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所 和束町 <p>中期レジデンス事業「大京都」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表開催場所 京丹後市、亀岡市 	地域文化活動振興事業費（京都Re-Search芸術祭創生事業）	14,600
	府民ホールアルティ及び府立文化芸術会館において、優れた舞台芸術（音楽、演劇、古典芸能等）の鑑賞機会の提供や、京都ゆかりの芸術家の育成、地域劇団の支援等のための公演を実施（13事業）。また、府域全体で優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、広域振興局管内の公演に補助（4事業）。計17事業。	文化創造促進事業費	21,997
	【再掲】次世代や初心者が優れた古典芸能を鑑賞・体験できる公演や、将来を担う若手演者の育成のための公演に助成（33事業を予定）。	文化を担う人づくり事業費（古典芸能普及促進事業）	8,000
	<p>「第11回京都ヒストリカ国際映画祭」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月26日（土）～11月4日（月） ・会場 京都文化博物館 ・その他 「映画企画市」や「京都フィルムメーカーズラボ」事業などの人材育成事業を実施 	京都クロスメディアパーク整備事業	47,400

「京都市文化力による未来づくり基本計画」進捗状況について(令和元年度上半期)

7つの柱と取り組む方策	実施状況(令和元年度上半期)	関連予算(令和元年度)	
		事業名	金額(千円)
	京都市文化財支援コーディネーター養成講座を開講。(予定) ・開催日 11月17日(日)、12月14日(土)、12月15日(日) ・会場 宮津市 ・内容 文化財に関する講義・演習(3日間、延べ15時間) ・定員 20名 文化財活用補助金 ・交付決定 13件 2,740千円	文化財活用支援事業費	13,000
障害者等の文化活動の充実	きょうと障害者芸術推進機構により、オール京都体制で障害者芸術を振興。 ・art space co-jinでの企画展 ・デジタルアーカイブ「アートと障害のアーカイブ・京都」の運営 ・IGOM京都大会でのブース出展 ・共生の芸術祭の開催(11月・2月予定) 「京都とっておきの芸術祭」の開催(12月予定)	障害者文化・スポーツ振興費(障害者文化芸術推進事業)	33,290
2 文化の保存及び継承			
伝統文化、生活文化の継承	古典の日推進委員会の設立10周年に当たり、従来築いたネットワークを活かした事業を実施。また、「古典の日」関連事業の全国展開に向け、東京でもフォーラムを開催。 ・「古典の日10周年記念フォーラム2019」 (11月1日(金)京都コンサートホール 定員1,577人) ・「古典の日10周年記念フォーラム in 東京2019」(予定) (11月19日(火)実践女子大学渋谷キャンパス、定員250人) ・「第11回古典の日朗読コンテスト」(応募419人) ・「街かど古典カフェ」(連続講座 前期5回、後期4回 各30人)	こころを育む古典の日推進事業費	7,500
	京都・和食文化推進会議により京都における和食文化の保護・継承・発展に携わる団体等のネットワーク化、情報発信・共有を実施。	京都・和食文化推進会議運営費	850
	京都府祭り・行事調査事業 ・期間 平成30年度から5年間(予定) ・内容 府内に伝承されている祭り、行事等に関する悉皆調査	文化財管理調査費	2,000
	伝統文化に勤しむ高校生が一堂に会する「全国高校生伝統文化フェスティバル」を文化庁と連携して開催。(予定) ・開催日 12月14日(土)、15日(日) ・場所 京都コンサートホール及び京都学・歴史館 ・テーマ 「大切にしたい日本のこころ」	文化を担う人づくり事業費(全国高校生伝統文化フェスティバル開催費)	18,000
文化財に対する修理等を実施。 ・建造物保存修理を所有者から受託して実施(国指定文化財) 22件 ・建造物修理現場の公開を実施(国指定文化財) 7箇所 文化財に対して、補助金を交付。 ・府指定等文化財の所有者に保存修理のための経費を助成 ・文化財を活用する所有者に、美装化、環境整備のための経費を助成 新規 ・社寺等文化資料保全補助金 115件 ・文化財を守り伝える京都市基金 16件 ・文化レジリエンス事業 2件	・建造物保存修理受託事業費 1,940,040 ・文化財建造物修理現場特別公開事業費 7,000 ・府指定文化財等保存修理事業費 115,500 ・文化財美装化・環境整備補助事業費 7,500 ・こころのふるさと京都文化財保護事業費 86,000		

「京都府文化力による未来づくり基本計画」進捗状況について(令和元年度上半期)

7つの柱と取り組む方策	実施状況(令和元年度上半期)	関連予算(令和元年度)	
		事業名	金額(千円)
文化財の保存・継承・活用	<p>【再掲】 京都府文化財支援コーディネーター養成講座を開講。(予定) ・開催日 11月17日(日)、12月14日(土)、12月15日(日) ・会場 宮津市 ・内容 文化財に関する講義・演習(3日間、延べ15時間) ・定員 20名 文化財活用補助金 ・交付決定 13件 2,740千円</p>	文化財活用支援事業費	13,000
	<p>京都文化博物館フィルムシアターにおいて、京都で制作された名作映画等を上映。 ・上映期間 4～9月(うち上映161日) ・来場者 23,001人</p>	地域文化活動振興事業費(文化芸術振興事業)	13,509
	<p>重要文化財「京都盲啞院関係資料」について、ICOM(国際博物館会議)京都大会の記念展示において公開。 ・展示期間 7月13日(土)～9月8日(日)</p>	京都学・歴史館資料保存・活用事業費	70,469
3 新たな文化の創造			
多様な交流の場の創出	<p>京都文化の総合的な発信や共通課題の解決、新たな芸術の創造等のため、文化芸術団体の分野を越えた連携による取組を促進(参加17団体)。 ・文化芸術団体ネットワーク会議の開催 令和2年2～3月予定</p>	文化創造促進事業費	21,997
4 文化資源を生かした地域づくり			
地域における文化活動の振興	<p>地域アートマネージャーを全4広域振興局に配置。</p>	地域文化活動振興事業費	82,498
	<p>【再掲】 短期レジデンス事業「アーティスト・イン・レジデンス事業」 ・開催場所 和束町 中期レジデンス事業「大京都」 ・発表開催場所 京丹後市、亀岡市</p>	地域文化活動振興事業費(京都Re-Search芸術祭創生事業)	14,600
	<p>地域の個性あふれる文化芸術活動を創出し、国内外へ発信することを支援するための市町村及び団体への補助事業。 ・文化芸術振興・発信事業 16件 ・文化力チャレンジ事業 9件</p>	新・文化芸術振興助成事業費	31,476
	<p>インターネット放送局生涯学習講座で、文化をテーマとする講座を配信。 ・京都府発見・芸術講座 130講座 ・⑩アクセス件数 6,450件</p>	生涯学習総合推進費	1,564
観光、まちづくり施策との連携	<p>「もうひとつの京都 ～太古から未来へと続くみち～」の開催。 ・天橋立ライトアップ 7月13日(土)～9月30日(月) ・メディアアート・フェスティバル *デジタルアート作品展示 9月13日(金)～11月4日(祝) *ライブパフォーマンス 9月28日(土) ・成相寺紅葉ライトアップスペシャル演出 11月9日(土)(予定)</p>	日本博府域展開アートプロジェクト事業費	30,000

「京都市文化力による未来づくり基本計画」進捗状況について(令和元年度上半期)

7つの柱と取り組む方策	実施状況(令和元年度上半期)	関連予算(令和元年度)	
		事業名	金額(千円)
	平成19年度設置の「天橋立世界遺産登録可能性検討委員会」を「天橋立世界遺産登録推進会議」に変更し、推進会議の中に学識者による「専門委員会」を設置し、6月26日(水)に初会合を開催。 昨年度調査研究内容を冊子にとりまとめ、世界遺産暫定一覧表記載に向け、文化庁へ働きかけを予定。	新・世界遺産事業費	2,000
5 文化資源を活用した経済の活性化			
文化関連産業の振興	優れた才能を有する若手コンテンツクリエイター等を表彰し、今後の制作活動を奨励するとともに京都から世界に発信する京都デジタルアミューズメントアワードを今年度末に実施予定。	京都クロスメディアパーク整備事業費	47,400
	京料理をはじめ和食の魅力を体感できるイベント「京都・和食の祭典2020」 ・開催日 令和2年3月(予定) ・会場 京都市内 関係府県等で連携した和食イベント「御食国(みけつくに)・和食の祭典in若狭路2019」 ・開催日 令和元年10月26日(土)、27日(日) ・会場 御食国若狭おばま食文化館	無形文化遺産「和食」発信事業費	19,000
世界のマーケットを見据えた取組	「京都国際アートフェア(仮称)」の開催に向け、実施体制を構築中。	国際アート市場形成事業費(運営体制構築)	16,800
	「KYOTO KOUGEI WEEK」の開催 ・開催日 令和元8月30日(木)～9月8日(日) ・会場 FabCafe Kyoto/MTRL KYOTO、京都国際マンガミュージアム、みやこめっせ等 ・主なイベント 企画展示&ワークショップ「From Surfing to traditinal crafts」、 国際シンポジウム「We-工芸から覗く未来」、展示商談会「京都・暮らしの文化×知恵産業展」	国際アート市場形成事業費(「KYOTO KOUGEI WEEK」の開催)	66,000
	【再掲】 若手作家の選抜展「Kyoto Art for Tomorrow 2020 -新鋭選抜展-」(予定) ・開催日 令和2年1月25日(土)～2月9日(日) ・会場 京都文化博物館 ・出展 40点(特別出展:宮永愛子氏) 作家自身が作品を販売する場「ARTISTS' FAIR KYOTO 2020」(予定) ・開催日 令和2年2月29日(土)～3月1日(日) ・会場 京都文化博物館ほか ・出展 若手アーティスト等62組 若手作家等と企業経営者等との交流会「アートルウンジ」 ・開催日 6月28日(金)、9月8日(日)、12月6日(金)ほか2回程度開催予定	国際アート市場形成事業費(京都新文化マーケット創出)	56,400
6 多様な京都の文化の発信			
京都の文化の国内外への発信	文化力プロジェクトについて、「くらしの文化」をテーマとして開催。 ・国際交流茶会 (5月23日(木)～5月26日(日))北野天満宮 参加者:552人 ・くらしの文化×知恵産業展 (9月3日(火)～9月5日(木))みやこめっせ 参加者:4,300人 ・京都文化力プロジェクトイベントガイド秋号 20,000部	京都文化力プロジェクト2016-2020開催費	30,000

「京都府文化力による未来づくり基本計画」進捗状況について(令和元年度上半期)

7つの柱と取り組む方策	実施状況（令和元年度上半期）	関連予算（令和元年度）	
		事業名	金額（千円）
	9月1日から7日の間、ICOM（国際博物館会議）を日本で初めて京都で開催し、120の国と地域から大会史上最多となる4,590人が参加。大会期間中、京都が育んできた伝統や文化などを体感できる多彩なプログラムを提供。 ・ソーシャルイベント、エクスカージョン、みゆぜコット2019in京都 ・KYOTO博物館子どもフォーラム等の実施	ICOM2019開催事業費	33,000
文化を通じた国際交流	京都学・歴史館において、海外若手研究員受入事業の連携覚書締結研究機関から2名の若手研究員を受入決定。	国際京都学活動推進事業費	14,450
7 文化活動を支える基盤づくり			
文化活動を支援するための専門人材等の確保	【再掲】 地域アートマネージャーを全4広域振興局に配置。	地域文化活動振興事業費	82,498